

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2008-49885(P2008-49885A)

【公開日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-009

【出願番号】特願2006-229124(P2006-229124)

【国際特許分類】

B 6 0 R 3/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 3/02

【手続補正書】

【提出日】平成21年5月13日(2009.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1スロープ部と該第1スロープ部にスライド移動自在に連結された第2スロープ部を有し、第1スロープ部に第2スロープ部を重ねたスロープ収納状態で車室内に搭載可能であるとともに、第1スロープ部が第2スロープ部の車両側に隣接して配置されたスロープ展開状態で車両から地上に下ろし車椅子等の出し入れを可能にするスロープ装置において、

前記第1スロープ部には脚部が設けられ、第1スロープ部に第2スロープ部を重ねたスロープ収納状態で車両から地上に下ろした場合は、前記脚部の下端が地上に接することと、第2スロープ部の反車両側端部と地上とが接することなく隙間が生じる構成とし、

スロープ収納状態から第2スロープ部をスライド移動させて引き出したスロープ展開状態で車両から地上に下ろした場合は、前記脚部の下端が地上に接することなく隙間が生じる構成としたことを特徴とする車両のスロープ装置。

【請求項2】

第1スロープ部に第2スロープ部を重ねたスロープ収納状態で地上に下ろした場合と、第2スロープ部の反車両側端部と地上との隙間を5mm以上に設定するとともに水平面に対するスロープ角をスロープ展開状態で車両から地上に下ろした場合のスロープ角よりも2°以上大きくしたことを特徴とする請求項1に記載の車両のスロープ装置。

【請求項3】

第2スロープ部をスライド移動させて引き出したスロープ展開状態では、前記脚部が第2スロープ部のスライド移動に連動して回動移動した折り畳み状態となることを特徴とする請求項1に記載の車両のスロープ装置。